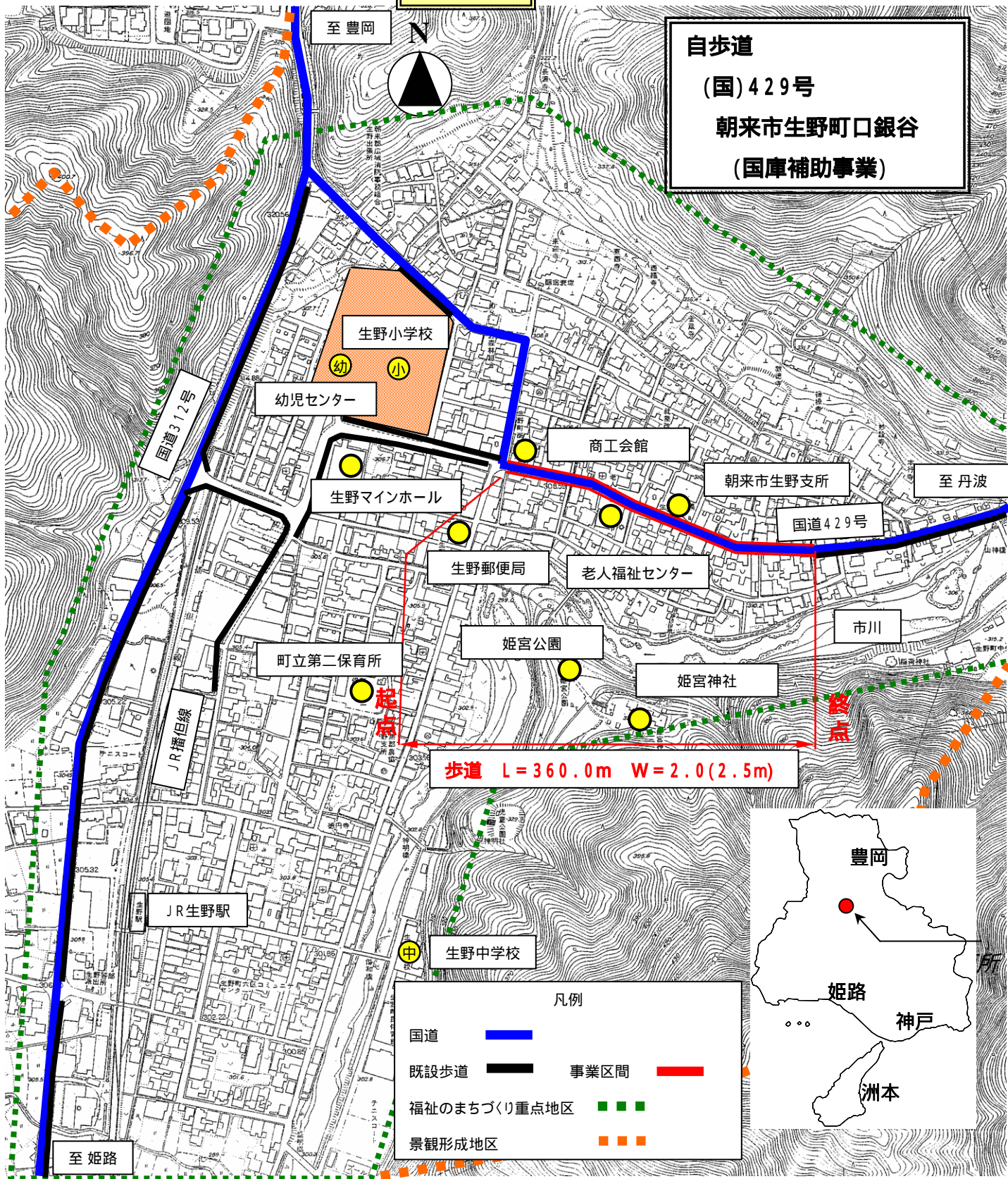


## 投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 國塚 康平 (交通施設係長 中尾兼人)	内線	4389 (4399)
-----	-------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

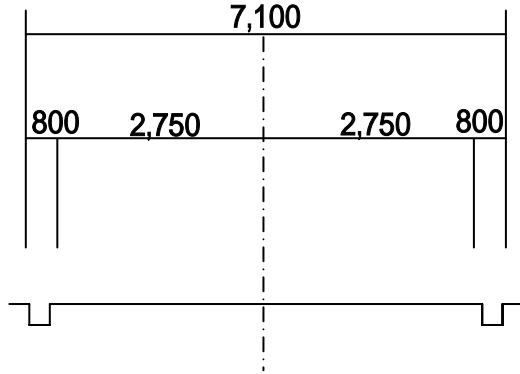
事業種目	交通安全施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 9.5億円 (内用地補償費約 8.0億円)
		特定交通安全施設等整備事業 (国)429号	朝来市生野町口銀谷		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
朝来市 口銀谷				平成20年度	平成24年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 ・自転車歩行者交通量の多い当該路線において歩道の整備を行い、歩車分離を図るとともに、都市再生計画によるまちづくり事業と一体的となって、面的な歩行空間ネットワークの形成と機能的な交通安全対策を推進する。			歩道整備(両側) L = 360.0m W = 2.0m (2.5)m 現況 歩道無し (負担割合 国1/2 県1/2)		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心  地域ニーズ  快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧生野町の中心市街地に位置する道路であり、沿道には朝来市生野支所、健康福祉センター及び老人福祉センター等の公的施設、病院及び銀行・商店等が立地しているが、歩道が未整備のため、非常に危険な状況にある。</li> <li>・近隣に小・中学校があり、中学校の通学路に指定されているが、近傍には工業地域があり通勤・通学時間帯に自動車交通が集中する。 生野中学校(500m)、生野小学校(50m)</li> <li>・自動車交通量が多く、歩行者・自転車交通量が比較的多い。 (自動車 4,282台/日、歩行者 93人/日、自転車 163台/日)</li> <li>・過去5年間に自転車・歩行者の事故(1件)発生。 死傷事故率(178人/億台km)</li> <li>・起点側及び終点側(市道)の歩道は整備済みであり、当該区間のみが未整備。</li> <li>・現道がカーブしていること及びクランクがあることなどから、見通しが悪い。</li> <li>・住民参加による交通安全総点検実施地区内の事業であり、地元要望も強い。</li> <li>・住民参画により策定した歩行空間ネットワーク整備方針で、都市再生計画によるまちづくりの中心軸として位置づけられている。</li> </ul>				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。</li> <li>・沿道住民参画による事業計画であり、円滑な事業執行環境が整っている。</li> </ul>				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観形成地区である朝来市生野町口銀谷地区の中心部に位置しており、歴史的なまちなみ景観に配慮して、住民参加による景観協定の締結も検討している。</li> <li>・歩道舗装に透水性舗装を採用し、雨水還元を図る。</li> </ul>				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市再生整備計画の整備方針により、住民参加によるまちづくり交付金事業(事業主体:朝来市)が進行中。まちの将来像を踏まえ、これらの街なみ景観形成事業と一体となり、沿道住民や地域づくり住民グループから成る検討委員会で、ワークショップ方式により整備方針を取りまとめた。 WS開催実績:説明会及び報告会等を含め13回(H19年4月現在)。</li> <li>・「福祉のまちづくり重点地区(口銀谷)」内にあり、福祉のまちづくり整備計画での位置づけあり。</li> </ul>				

# 概要図

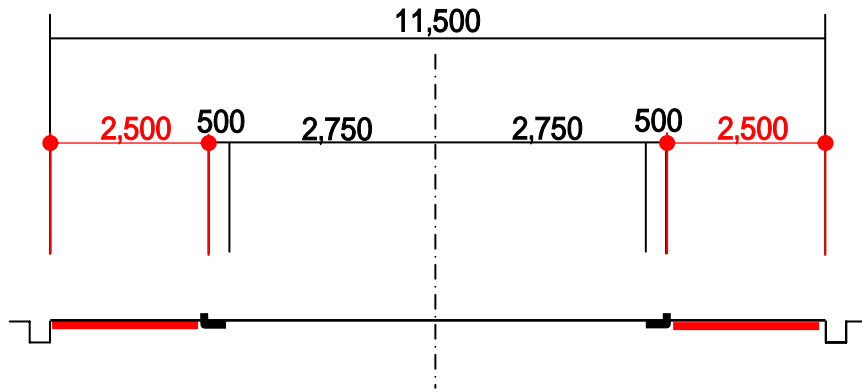


## 標準断面図

整備前



整備後



## 事業スケジュール

	工 程				
	H20	H21	H22	H23	H24
測 試	—				
用地補償		—	—	—	
工 事				—	—

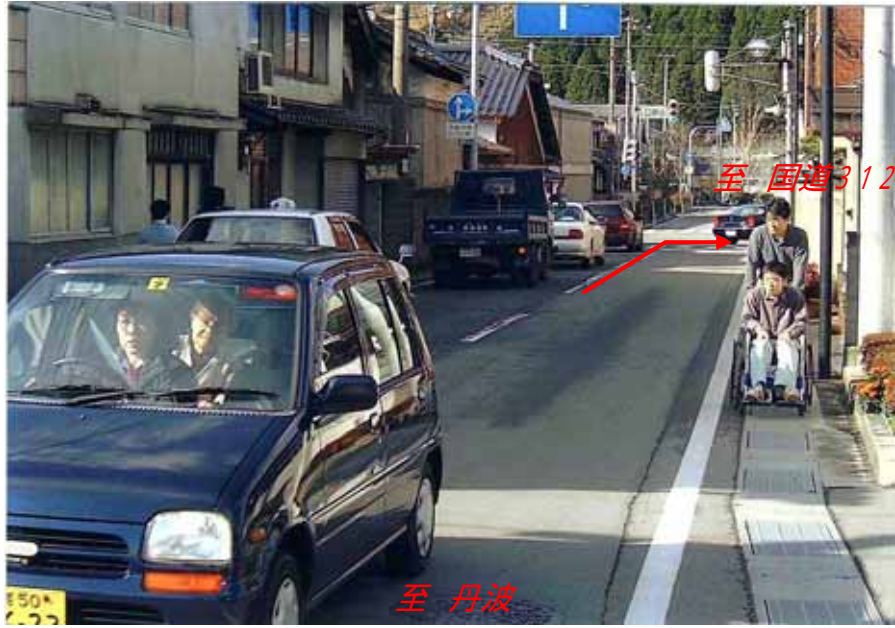
現況写真(起終点部写真)



現況写真(起終点既設歩道)



通学現況写真



冬季の路面状況写真

